

2022年3月16日

HSBC、ネットゼロに向けたステップを発表

HSBCは気候変動に関する戦略を実行し目標を達成するため、に大きな改革に乗り出そうとしています。

脱炭素への移行に向けて顧客に積極的に働きかけ、その移行計画の実効性を担保し、顧客が必要とする投資の実行に役立つファイナンスやアドバイザリーのソリューションを提供することで、HSBCは低炭素の世界経済に最大の貢献ができると考えています。

HSBCは自社のポートフォリオの投融資先排出量を遅くとも2050年までにネットゼロにすることに真摯に取り組んでいますが、この目標は顧客と力を合わせるにより初めて実現できるものです。

目標達成に向けた3つのステップは以下の通りです。

1. 気候関連の移行計画の発表

2023年に発表する計画では、気候変動に関するHSBCの戦略を実施する方法、および科学的根拠に基づく2030年と2050年の目標を達成する方法について初めて説明する予定です。

この計画では、炭素集約型産業におけるHSBCのアプローチを概説し、ネットゼロを達成するための持続可能性に配慮した新たなオペレーティングモデルの導入を含め、全社的に進んでいる変化について説明します。

進捗状況については年に一度、年次報告書で報告します。

2. 化石燃料事業への融資の段階的縮小

世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて 1.5 度に抑えるために求められる対策に沿って、科学的な根拠に基づき、HSBC は化石燃料事業への融資の段階的廃止を約束しています。

この約束は、一般炭関連融資、およびオンバランスの石油とガス、電力・公益事業セクターからの投融資先排出量の暫定目標を含め、HSBC が最近行った発表に沿った内容です。その他の全セクターの投融資先排出量の暫定目標を定めるべく作業を進めています。

HSBC は顧客の移行計画が HSBC が掲げる 2050 年までにネットゼロを達成するという目標に適合しているかを点検し、移行計画が作成されていない、または度重なる働きかけにもかかわらず、移行計画が適合していない場合に、顧客への融資を継続するかどうかを判断します。

石油とガス、電力・公益事業セクターの資本市場活動を把握するために、国際イニシアティブ「Partnership for Carbon Accounting Financials (PCAF)」の基準が発表された後の 2022 年第 4 四半期に投融資先の排出量の目標を発表する予定です。

3. 融資と投資に関する全般的な方針の点検と更新

HSBC は 2050 年までにネットゼロを達成するための重要な方針について点検し、世界をリードする独立系科学機関や国際機関と協議していきます。

点検には、在来型と非在来型の石油とガス、メタンと排出、北極、アマゾン、ユネスコの世界遺産登録地など環境面で重要な地域を対象とする幅広いエネルギー方針が含まれます。

最新の科学的ガイダンスを含めた動向を踏まえ、2022 年末までに一般炭に関する最新方針が発表される予定です。

「現在のエネルギー危機をきっかけとして、クリーンエネルギーへの移行に向けた投資を大幅に増やすことが必要です」

HSBC のグループ・チーフ・サステナビリティ統括責任者であるセリーヌ・ハワイエは次のように述べています。「世界を襲う突然のエネルギー危機には、エネルギー安全保障にまつわる短期の行動が必要なことを HSBC は理解しています。HSBC の顧客は、私

たちと同様に、この新しい現実の中で事業を展開していますが、ネットゼロの未来に向けてビジネスモデルを改革するという、今後数十年にわたる長期的な課題には何ら変更はありません。むしろ、現在のエネルギー危機をきっかけとして、クリーンエネルギーへの移行に向けた投資を大幅に増やすことが必要です。」

注記：

HSBC ホールディングス plc

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる 64 の国と地域でお客さまにサービスを提供し、2 兆 9,580 億米ドル（2021 年 12 月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

以上